



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第33回例会(3月17日)  
平成29年3月24日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例 会 場 同上 TEL(651)1111(代)  
例 会 日 毎週全曜日12時30分～

会 長 駒木 進  
幹 事 海野 尚  
会 報 熊谷 隆司  
クラブ事務局 TEL(653)5682  
FAX(653)5622

ROTARY SERVING HUMANITY. '人類に奉仕するロータリー'…… ジョン F ジャーム

2016-2017 年度

## 環境保全ポスター表彰式

### 受賞者のことば



(左より) 金賞受賞：佐々木優子様・銀賞受賞：佐々木海太郎様・銅賞受賞：松本久美子様

#### ●金賞 佐々木優子様

本日は、このような表彰式を用意していただき誠にありがとうございます。名誉ある賞をいただきとても嬉しく思います。

今回制作しましたポスターは、昨年わたし自

身が感じた「環境の違和感」がきっかけです。多くの方が「環境の違和感」を感じる中「地球温暖化」を訴えるものではなく「環境への意識や行動の継続に結びつく」ポスターにすることを目標とし挑みました。絵よりも、

言葉として表現することが難しく地球を擬人化したコピーにするまで相当悩みましたが、希望や前向きな印象に結びつくものになったと思っております。

まだまだ未熟な私ですが、今回のことを励みに今後も精進していく所存です。本日は、ありがとうございました。

### ●銀賞 佐々木海太郎様

佐々木海太郎と申します。作品の説明をさせていただきます。

タイトル「Don't Forget」「忘れるな！」これは、森林伐採、環境問題を「忘れるな！」のメッセージです。切り株の断面に弱りかけた生命を表現するため紫色に、それに対してバックにグリーンを敷くことで引き立たせます。切り株の羅列の強さと色彩の対比を使ったシンプルな作品構成となっております。

以上です。ありがとうございました。

### ●銅賞 松本久美子様

私達人類を含め地球上にいる生物は、木がないと生きていけません。しかし、人類の発展により木が切られ森林が減少しています。この状況がこのまま続き、木が切られ続けた未来はどうなるだろうと想像し作りました。

骨の使用やモノクロでダークなイメージを演出し、未来への恐怖感を表現しました。

このポスターを見た人にこのままの生活を続けると、未来はポスターのようになってしまうということを伝えることが出来ればうれしいです。

今回の賞をいただいたことを励みにこれからも作品制作をがんばりたいと思います。ありがとうございました。



### 講評

岩手デザイナー協会 会長  
村上 由美子 様

こんにちは。岩手デザイナー協会の村上由美子と申します。本日は、環境保全ポスターの表彰式にお招きいただき、誠に、ありがとうございます。また当協会の活動に対しましては、かねてより様々な御支援を賜っておりますことに、心より厚く御礼を申し上げます。

第69回を数えた岩手芸術祭・デザイン部門の環境課題におきまして、30点余りの応募作品の中から金賞・銀賞・銅賞を受賞された皆さま、本当に、おめでとうございます。それぞれの作品の講評につきましては、後ほど述べさせていただきます。

さて「三寒四温」という諺の通り、しばしば身に堪えるほどの寒暖を繰り返しつつも、よう

やく春の訪れを実感できる今日この頃となりました。折しも、2011年3月11日に発生した大地震・大津波、さらに福島県での原発事故から丸6年が過ぎております。未来に対する希望や不安が入り混じった気持ちは拭えないものの、しっかりと時代と向き合い、考え方や行動を巡る新しいスタンダードを自ら作り出すような気構えが、より良い明日に結び付く気がいたしております。

ささやかながら、沿岸の復興に携わった事例を挙げさせていただきます。

昨年の11月25日から12月5日まで、陸前高田市コミュニティホールを会場に、文化財レスキューに関する催しが開かれました。被災文化財の保存修復に関する支援企画展と位置付けられるもので、文化庁をはじめ日本博物館協会、岩手県立博物館、さらに全国各地の博物館や大学・研究機関などが陸前高田へ厚い志を寄せ、持続的な支援を重ねている一環です。会場に配布されたパンフレット作成のアートディレ

クションとデザインを担当させていただきました。

大津波で、かけがえのない数多くの宝物も被災しています。海と貝のミュージアム、陸前高田市立博物館などで収蔵・展示していた文化財 56 万点余りのうち、46 万点ほどが関係者の尊い努力で救出され、安定化処理や修復作業を施されてきました。蘇った文化財は、自然・歴史・民俗など幅広い分野に及んでいます。宮澤賢治とも親交が深かった陸前高田出身の植物学者・鳥羽源蔵がフィールドワークで収集した標本や、砂が舞う荒れ地だった高田松原にマツを植林した先人たちの功績、気仙隕石が落ちてきた様子が記された吉田家文書、さらに、鹿の角で作った縄文期の釣針など興味の対象は尽きませんでした。

陸前高田の宝を未来へ、つなぐ。それは、その地に生きた人たちの記憶も記録も次代へと、大切に伝えながら活かしていくことを意味します。陸前高田市立博物館の本多文人館長は、あいさつ文の中で、「先人の意志を受け継ぎ、地方文化の本質を追究し続けたい」と、思いを強くしています。時が育んできた固有の豊かさや、多様性を物語る文化財に希望を託して [心の復興] に尽力しようとする決意を感じました。

ジオグラフィック、すなわち地誌の観点で陸前高田を知る機会に恵まれたことで、暮らしの場面を取り巻く自然環境に対する関心も深まりました。より身近に存在する様々な生命、あるいは人間の営みの所産も、ふるさとの環境や魅力を形づくる上で欠かせない要素なのだ学びました。

続きまして、岩手デザイナー協会の取り組みの一環として、昨年の表彰式で紹介させていただきました [カーボン・オフセット・キャンペーン] について申し上げます。地球温暖化の原因となる CO<sub>2</sub> 削減を図るため、その PR 活動を推進しようと、会員が [木と森林] をテーマにオリジナルカードをデザインしました。そ

の後、今回の岩手芸術祭・環境ポスターとともに展示する機会に恵まれ、多くの来場者にご覧いただきました。

環境省が提唱する [COOL CHOICE (賢い選択)] は、温暖化対策の国際的な枠組みである [パリ協定] に基づく国民的な取り組みです。省エネに努めたり、低炭素型の製品・サービス・行動を選択したりするなど、ふだんの暮らしの中で、未来のために出来ることの大切さを呼び掛けています。このような社会的なアクションについても、盛岡ロータリークラブ様から御理解・御支援を賜っていることの表れであり、あらためて御礼を申し上げる次第です。

それでは、講評に移らせていただきます。

はじめに、金賞に輝かれました佐々木優子さんの [地球に日傘を] は、この星の明るく確かな未来へ向け、スケール感の大きな着想を得て仕上げた作品と言えます。「あついね地球ちゃん。日傘をどうぞ。」という、やさしいキャッチフレーズとともに、青い地球にさした日傘は、シンプルな白い線で描かれ、全体のバランスを保っています。明るい表現が少ない温暖化防止ポスターの中で異彩を放っている作品と言えます。共に生きる一人ひとりが想いを共有して、また、ある時は手を携えて、ポジティブ・マインドで行動の輪を広げていこうというメッセージが込められているように感じます。

続きまして、銀賞に選ばれました佐々木海太郎さんの [Don't Forget] 「忘れるな！」という作品は、樹の切り株を自然破壊の象徴としてクローズアップしています。背景のグリーンの色とは対照的に、赤や紫で表現された痛々しい切り口でビジュアルショックの意図を取って強め、いたずらに生命体を損ねたり失ったりする世界的な状況へ警鐘を発し、こうした人類の危機から脱却する術は何か、と問い掛けているようです。

そして最後に、銅賞に入られました松本久美子さんの [未来] は、ダークで強烈なビジュア

ルと色づかいで、木が無くなる恐怖感を思い知らされます。世界観そのものに作品のテーマ性が重く深く内包され、見る者すべてに自省を促すかのような存在感を発しています。この地球上に蔓延し、未だに止むことのない数々の愚行に対し、確かな倫理観と覚醒が必須だと主張しているように思えてなりません。

今さらながら強く感じるのは、デザインとは、社会におけるコミュニケーション・ツールだという点です。もしも創り手の思い込み・独りよがり・自己満足という狭い視野で完結してしまうなら、それは意思や情報の伝達手段、社会的なムーブメントの呼び水としての機能を持つことができません。不特定多数の受け手に向け、どのように伝えてレスポンスを獲得するのか、

絶えざる洞察や検証でクリエイティブを深めたものです。環境問題と言っても、地球規模のことから家庭内のことまで、対象は無限に挙げられそうです。どの点に指向を巡らせ、表現を磨くのか。デザイナーとしての確かな視点を持ちつつ、一人の市民、生活者として日頃の生き方をどう反映させるべきかと考えています。

おかげさまで、岩手デザイナー協会は創立から半世紀という節目を越えてなお、進歩的な気風のもとで前進を続けようとしています。当協会の活動に対しまして、これまで以上の御理解・御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

本日は、美味しいランチと御静聴をありがとうございました。

## 例会報告

### 第33回例会 平成29年3月17日(金)

12時30分 開会点鐘

- ・司会 駒木 進会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・3月の歌 斉唱 (仰げば尊し)
- ・ゲスト 村上由美子様 (岩手デザイナー協会会長)・佐々木優子様 (環境保全ポスター金賞受賞者)・佐々木海太郎様 (環境保全ポスター銀賞受賞者)・松本久美子様 (環境保全ポスター銅賞受賞者)
- ・会長報告 駒木 進会長
- ・入会祝 盛田洋太郎君。
- ・誕生祝 平野佳則君。
- ・結婚祝 盛田洋太郎君。
- ・幹事報告 海野 尚幹事

### 【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡東R.C.=3月27日(月)は、通常昼例会を18:30~時間変更

- ・委員会報告 坂本広行副会長  
旅行会のご案内：  
6月3日(土)~4日(日)  
南部発祥の地「甲斐国 南部郷 (山梨県南部町)」を訪ねて  
詳細：後日ご案内

### 【ニコニコBOX】

- ◆佐藤重昭君 (社会奉仕委員長)…本日の環境保全ポスター表彰式。受賞者の皆様、誠におめでとうございます。私は社会奉仕委員長にもかかわらず出張のため出席できず誠に申し訳ありません。かわりに仕切って頂いた副委員長の藤村

吉隆会員、そして設営にご尽力頂いた社会奉仕委員会各委員会の皆様、親睦委員会、SAAの皆様にも併せて御礼申し上げます。皆様有り難うございました。

- ◆飯塚 肇君…12日(日)、会長エレクト研修セミナーに参加してきました。ニコニコしてられないブレッシャーでしたので、ニコニコします。
- ◆寅年の男 岩野法光君…久し振りの別メニューでした。

### ●メークアップ

仙台宮城野 R.C.=橋本君。盛岡北R.C.=田口・吉田(育)君。盛岡西R.C.=福田・西田・佐藤(仁)君。盛岡東R.C.=熊谷(祐)君。クラブ委員会=荒川・千葉・平野・勝部・川村(勝)・西島・乳井君。

### 出席報告

会員数 / 75 名

出席数 / 43 名

出席率 / 60.27%

前々回修正出席率 / 77.78%

### プログラムの お知らせ

- ・3月24日(金) ゲスト卓話 永井 隆様 (本誓寺(紫波町)住職)
- 31日(金) 特別休会
- ・4月7日(金) 会員卓話 長野隆行会員  
「米山奨学会について(仮題)」
- 14日(金) ゲスト卓話
- 20日(木) 観桜家族会 (21日例会変更)

- 本号編集担当 / 高田 浩二
- 次号編集担当 / 橋本 孝史